



イイ面と付き合おう

いよいよ13Rの日々も今日で終わりである。それに伴い、この通信も、とりあえずシーズン1?が終わることになる。

さて、私はこの通信の記念すべき?第1号に次のように書いている。

*

知っての通り、日比谷高校は「進学指導重点校」として、君たちの将来の夢の実現をサポートする学校である。しかし、ただ大学へ「進学する」ということが目標なら、何も「ここ」で学ぶ必要はない。極論をすれば、家で自分で勉強して高等学校卒業程度認定試験(旧大学入学資格検定)を受けたって大学へは行けるのである。

では、「ここ」で学ぶのはなぜなのか?

それは「友人と共に」、つまり、「We」で学ぶことに大きな意味があるからである。教科の学習にしる、SSHの講座にしる、部活動にしる、行事に向けての準備にしる、すべてを個性豊かな友人とともに行うのである。その中で、笑い、張り合い、得意になり、背伸びし、一方で、悔し涙を流し、羨ましく思い、卑下したくなったり悲しくなったりする…。そういうさまざまな思いを分かち合い、励まし合う中で、一人では決して得ることのできない、かけがえのない時間を君たちは手に入れることになるのである。日比谷には、その時間を分かち合える、いや、分かち合う価値のある友人たちがいるのだ。

誰にでもイイ面と悪い面とがある。100%の善人などいない。同じように、どの学校にもイイ面と悪い面とがあるだろう。どうか、周囲の友だちのイイ面を認めあい高めあう関係を築き、「生涯の友」と呼べるような存在を見つけてほしい。そして、日比谷高校のイ

イ面とたくさん関わるような学校生活を送ってほしい。

*

さて、私がここに書いた願いは叶えられたのだろうか(←疑問。反語ではない…笑)。

これは2年生を迎える君たちへ贈る言葉でもある。もう一度自分の周囲を見渡してみよう。互いに手を抜きあう友ではなく、互いに高めあう友がいるだろうか。互いに悪さをする友ではなく、互いに「出来る範囲」を広げる友(←今月の「進路通信」参照)とともにいるだろうか…。

クラス替えもあり、2年生はり・スタートのチャンスでもある。今までの自分が、日比谷のイイ面と充分に関わり合えていないと感じられるなら、どうかもう一度、日比谷での生活を素直に見直してほしい。今のままでイイのだろうか?と感じる心の声が聞こえているのなら、どうかその声に素直に耳を傾け、自分の在り方を考えてほしいと思う。日比谷のイイ面はとてつもなく広く深い。黙って見ているだけでは分からない、本当の素晴らしさにぜひ気づいてほしいものだ。

*

13Rは、勉強の成果はともかく(笑)、授業をしている先生方からの評判もよく、安心して担任をしていただける素直で明るい素敵なクラスだった。

4月になってクラスが新しくなると、早速係・委員決めがある。今年の経験を生かしてぜひ新しいクラスでも活躍して下さい。40人を8クラスで割ると5人だから、長い付き合いとなるのはそれくらい。あとは、授業や補習でお会いしましょう。では、また!